

番 号：150894

国 名：ポリビア

担当部署：地球環境部水資源グループ水資源第二チーム

件 名：コチャバンバ県統合水資源管理能力強化プロジェクト詳細計画策定調査（水資源管理計画）

### 1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務：水資源管理計画
- (2) 格 付：3号
- (3) 業務の種類：調査団参团

### 2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間：2015年11月中旬から2016年1月中旬まで
- (2) 業務M/M：国内0.5M/M、現地0.93M/M、合計1.43M/M
- (3) 業務日数：

準備期間	現地業務期間	整理期間
5日	28日	5日

### 3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数：1部
- (2) 見積書提出部数：1部
- (3) 提出期限：10月28日(12時まで)
- (4) 提出方法：専用アドレス (e-propo@jica.go.jp)への電子データの提出又は郵送(〒102-8012 東京都千代田区二番町5番地25二番町センタービル)(いずれも提出期限時刻必着)

※2014年2月26日以降の業務実施契約(単独型)公示案件(再公示含む)より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を本格導入しています。

提出方法等詳細についてはJICAホームページ(ホーム>JICAについて>調達情報>調達ガイドライン、様式>業務実施契約(単独型)(2014年4月以降契約)>業務実施契約(単独型)簡易プロポーザルの電子提出について)([http://www.jica.go.jp/announce/manual/form/consul\\_gt/20150618.html](http://www.jica.go.jp/announce/manual/form/consul_gt/20150618.html))をご覧ください。

なお、JICA本部1階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご留意ください。

### 4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等
    - ①業務実施の基本方針 16点
    - ②業務実施上のバックアップ体制等 4点
  - (2) 業務従事者の経験能力等
    - ①類似業務の経験 40点
    - ②対象国又は同類似地域での業務経験 8点
    - ③語学力 16点
    - ④その他学位、資格等 16点
- (計100点)

類似業務：	水資源管理計画に係る各種業務
対象国／類似地域：	ポリビア／全途上国
語学の種類：	英語

### 5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等：特になし
- (2) 必要予防接種：黄熱病：入国に際してイエローカード(黄熱病予防接種証明書)が必要で

す。

## 6. 業務の背景

コチャバンバ県は、ボリビアの第三の都市圏としての規模を誇り、小規模農業、工業、畜産業が盛んである。コチャバンバ県の人口1,758,143人（2012年国勢調査）のうち、75万人がロチャ川（全長56.2km）の流域にある7つの中間都市（サカバ、セルカド、コルカピルワ、キリヤコリヨ、ビント、ティキパヤ、シペシペ）が集中する都市圏で生活している。

コチャバンバ県においては水不足が常態化しており、非効率な水利用や地下水を含む汚染等の問題が顕在化している。また、コチャバンバ県は灌漑農業が進んでいる地域であり、飲料水と灌漑用水の競合が発生している。これら水資源に係る課題への対応として、環境・水資源省は流域管理重点5地域の一つとしてリオ・グランデ流域を設定し、その一部を成すロチャ川流域における統合的な水資源管理の実現を図っている。具体的には、コチャバンバ県は計画・水資源管理部、及び流域サービス部が中心となり統合水資源管理に向けた計画策定や能力強化などの取り組みを進めている。しかし、これらの計画を立案・実施するために、水資源管理に関連する法・制度設計、水資源量・水質のモニタリング等に必要となるキャパシティの強化が大きな課題となっていることから、ボリビア政府は我が国に対し、統合水資源管理に係る能力強化を目指した「コチャバンバ県統合水資源管理能力強化プロジェクト」（以下、「本プロジェクト」）の実施に係る支援を要請した。

今回実施する詳細計画策定調査は、要請の背景・内容を把握した上で、プロジェクトの実施体制及び活動内容について確認を行い、協議議事録（R/D）案について議論し、その内容をミニッツ（M/M）にて合意することを目的とする。また、本プロジェクトで投入する人材、資機材の種類・数量を検討し、概算額の算出に必要な情報収集も行うこととする。

## 7. 業務の内容

本業務従事者は、技術協力プロジェクトの仕組み及び手続きを十分に把握の上、担当分野に係る以下の調査を行う。また、他のコンサルタント団員の担当部分を含めた業務の取りまとめを行う。具体的担当事項は次のとおりとする。

### (1) 国内準備期間（2015年11月中旬）

- ① 要請背景・内容を把握する（要請書・関連報告書等の資料・情報の収集・分析）。
- ② 担当分野に係る現状分析を行うとともに、技術協力で実施すべき協力課題を想定し、同協力の実施内容及び実施方針について検討する。
- ③ 水セクターに関する国家政策、既存のガイドライン、マニュアル等について整理する。
- ④ 他ドナーが実施するプロジェクトに関する資料・情報の収集、分析を行う。
- ⑤ 我が国の過去の協力（無償資金協力、技術協力プロジェクト等）に関する情報収集、分析を行う。
- ⑥ 他コンサルタント団員と協力し、ボリビア国側関係機関（C/P機関等）、他ドナー等に対する質問票（案）（和文）を作成する。
- ⑦ 担当分野に係る調査計画・方針案を検討する。
- ⑧ 現地調査で収集すべき情報を検討する。
- ⑨ PDM(案)（和文・英文）、PO(案)（和文・英文）及びM/M(案)（英文）の作成に協力する。
- ⑩ 対処方針会議等に参加する。
- ⑪ 詳細計画策定調査報告書（案）の目次案を検討する。
- ⑫ 施設整備及び機材投入の必要性及び価格調査方法を検討する。

### (3) 現地派遣期間（2015年11月下旬～12月中旬）

- ① JICAボリビア事務所等との打合せに参加する。
- ② ボリビア関係機関との協議及び現地調査に参加する。
- ③ PDMに関する協議の準備に必要な範囲で以下の項目に関する情報の収集及び整理を行う。  
ア）要請の背景・内容、上位計画及び水セクターにおける優先課題等

- イ) 水資源管理・開発、給水に係る国家政策、開発計画及び関連法規等（上下水道・環境、農業、工業、畜産業、エネルギー開発、防災等）
- ウ) 水資源開発・管理、流域管理等に係る組織・実施体制
- エ) 本プロジェクト実施に係る先方負担の内容（カウンターパート、事務所、免税措置ほか先方実施体制の確認）
- オ) 我が国の過去の協力（特に要請地域）実施後の現状
- カ) 他ドナーの協力実績・動向（特に、世界銀行、スイス開発協力庁（COSUDE）、ドイツ国際協力公社（GIZ）等が支援しているの活動内容と本業務との関連性）
- キ) C/P機関のキャパシティ（組織体制、人員、予算等）
- ク) C/P機関の今後の本プロジェクトへの予算・人員配置に係るコミットメント
- ケ) C/P機関の統合水資源管理に係る技術協力ニーズの把握、技術移転の成果項目、技術移転手法の検討
- コ) 技術協力の実施のための情報収集（調査再委託先の情報、必要な調査機材の仕様や見積等）

- ④ 他団員が主催するPCMワークショップに参加し、担当分野の観点から結果の取りまとめに協力する。
- ⑤ 上記①～④の結果を踏まえ、本プロジェクト実施に必要な機材及び調達方法を検討する。
- ⑥ 上記①～⑤の結果を踏まえ、PDM(案) (和文・英文)、PO(案) (和文・英文)の修正、M/M(案) (英文)、R/D(案) (英文)の作成に協力する。
- ⑦ 担当分野に係る現地調査結果報告を作成し、JICAボリビア事務所等に報告する。
- ⑧ ミニッツ協議後、詳細計画策定調査報告書（案）取りまとめに必要な追加情報、水分野に関する現地コンサルタント及び施工業者の情報、資機材の調達方法や単価等を収集する。

(4) 帰国後整理期間(2015年12月中旬～2016年1月上旬)

- ① 帰国報告会に出席し、担当分野に係る調査結果を報告する。
- ② 担当分野に係る詳細計画策定調査報告書(案) (和文)を作成するとともに、他の業務従事者の担当部分を含めた取り纏めを行う。また、同報告書(案)全体の取り纏めに協力する。
- ③ 事業事前評価表(案) (和文)作成に協力する。

## 8. 成果品等

本契約における成果品は以下のとおりです。

- (1) 担当分野に係る詳細計画策定調査報告書(案) (和文)  
電子データをもって提出することとします。

## 9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約における見積書作成のガイドライン」(2014年4月) (<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>)を参照願います。留意点は以下のとおりです。

- (1) 航空賃及び日当・宿泊料等  
航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含みます（見積を計上して下さい）。  
航空経路は東京-ニューヨーク-サンパウロ-ラパスを標準とします。

## 10. 特記事項

- (1) 業務日程／執務環境
  - ① 現地業務日程

本業務従事者の現地調査期間は2015年11月21日頃～2015年12月18日頃を予定しています。本業務従事者は、当機構の調査団員に1週間先行して現地調査の開始を予定しています。また、他団員帰国後も、現地にて数日資料収集を行って頂く予定です。

## ②現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

- ア) 総括 (JICA)
- イ) 統合的水資源管理 (JICA)
- ウ) 水質 (JICA)
- エ) 協力企画 (JICA)
- オ) 水資源管理計画 (コンサルタント)
- カ) 水利用/上下水道 (コンサルタント)
- キ) 評価分析 (コンサルタント)

## ③便宜供与内容

当機構ボリビア事務所による便宜供与事項は以下のとおりです。

- ア) 空港送迎：あり
- イ) 宿泊予約：あり
- ウ) 車両借上げ：全行程に対する移動車両の提供（機構職員等の調査期間については、職員等と同乗することとなります）
- エ) 現地日程のアレンジ  
現地ヒアリング調査のスケジュールアレンジ及びびC/Pの同行
- オ) 通訳  
日本語・スペイン語通訳（国内準備期間・現地調査期間・帰国後整理期間）
- カ) 執務スペースの提供：無し

## (2) 参考資料

### ①閲覧資料

本プロジェクトに関する以下の資料が当機構図書館のウェブサイト (<http://libopac.jica.go.jp/>) で公開されています。

- ア) ボリビア共和国 コチャバンバ県灌漑施設改修計画基本設計調査基本設計調査報告書
- イ) ボリビア共和国 コチャバンバ市南東部上水道施設改善計画事業化調査報告書
- ウ) ボリビア共和国 コチャバンバ市南東部上水道施設改善計画第二次事業化調査報告書
- エ) ボリビア共和国 コチャバンバ市南東部上水道施設改善計画基本設計調査報告書
- キ) ボリビア多民族国 生命の水プロジェクトフェーズ2終了時評価報告書
- ク) ボリビア共和国 生命の水プロジェクトフェーズ2事前評価調査・実施協議報告書
- ケ) ボリビア共和国 生命の水プロジェクト最終モニタリング評価調査報告書
- オ) ボリビア国 「氷河減少に対する水資源管理適応策モデルの開発」プロジェクト終了時評価報告書
- カ) ボリビア多民族国 氷河減少に対する水資源管理適応策モデルの開発詳細計画策定調査報告書

### ②配布資料

以下の資料について当機構地球環境部水資源第二チーム (TEL: 03-5226-9573) にて配布します。

- ・「コチャバンバ県統合水資源管理能力強化プロジェクト」要請書

## (3) その他

- ①業務実施契約 (単独型) については、単独 (1名) の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。
- ②スペイン語ができることが望ましい。

③現地作業期間中は安全管理に十分留意してください。現地の治安状況については、JICA ボリビア事務所などにおいて十分な情報収集を行うとともに、現地作業の安全確保のための関係諸機関に対する協力依頼及び調整作業を十分に行うこととします。また、同事務所と常時連絡が取れる体制とし、特に地方にて活動を行う場合は、現地の治安状況、移動手手段等について同事務所と緊密に連絡を取る様に留意することとします。また現地作業中における安全管理体制をプロポーザルに記載してください。

④本業務の実施にあたっては、「JICA不正腐敗防止ガイダンス（2014年10月）」の趣旨を念頭に業務を行うこととします。なお、疑義事項が生じた場合は、不正腐敗情報相談窓口またはJICA担当者に速やかに相談してください。

以上